

令和5年3月17日

## 文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和5年3月17日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに147件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は13,779件となる予定です。

### 1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累計
登録件数	147	13,779
関係都道府県数	28	47
関係市町村(区)数	52	1,008

### ○時代別 (件)

	江戸以前	明治	大正	昭和			計
				前期 (S元～ S20)	中期 (S21～ S40)	後期 (S41～ S64)	
新規登録	30	49	27	27	9	5	147
累計	2,462	4,352	2,794	3,543	579	49	13,779

### ○種別 (件)

	産業			交通	官公庁舎	学校	生活関連	文化福祉	住宅	宗教	治山治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	1	3	11	6	5	2	0	11	83	25	0	0	147
累計	125	1,438	1,712	519	245	434	336	478	6,184	1,998	223	87	13,779

(件)

	建築物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	121	5	21	147
累計	10,949	669	2,161	13,779

今回の答申における主なもの

① 北海道の競走馬生産発展期の典型的な厩舎建築

001 レースホース牧場（旧大日本競走馬生産）本厩舎 北海道新ひだか町 昭和36年

日高地方の三石歌笛<sup>みついし</sup>に所在する競走馬牧場の、桁行70メートルに及ぶ長大な厩舎。腰折れ屋根で、二階は干し草置場、一階は馬房が並ぶ典型的な造りで、馬産地の歴史的景観を形成する。



提供：新ひだか町教育委員会

② 花巻城下にある宮沢賢治が生きた時代に建った西洋館

002 旧菊池家住宅西洋館 岩手県花巻市 大正15年

花巻城下の武家町御田屋小路<sup>おたやこうじ</sup>の洋風住宅。外観は半切妻の瓦屋根を切妻造ドーマーや軒先ブラケット等で飾る。中廊下沿いに並ぶ部屋は和洋折衷の独特な空間。宮沢賢治の世界を彷彿させる西洋館。

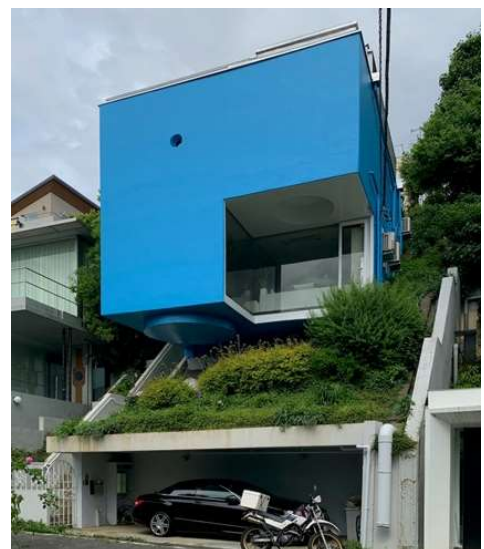


提供：花巻市教育委員会

③ 住宅作家として名高い建築家宮脇檀<sup>みやわきまゆみ</sup>の代表作

023 ブルーボックスハウス 東京都世田谷区 昭和46年

住宅作家として名高い建築家宮脇檀による「ボックス・シリーズ」代表作の一つ。国分寺崖線<sup>がいせん</sup>の地形を活かし、鉄筋コンクリート造と木造を組み合わせ、軽量化を図り、狭小地に光溢<sup>あふ</sup>れる空間を実現した。



撮影：山崎鯛介

④ 現役<sup>かがい</sup>花街の町並みに建つ<sup>げいこ</sup>芸子のお師匠さんの家  
031 瓢亭<sup>ひょうてい</sup>（旧花岡家住宅） 新潟県新潟市 昭和9年頃

新潟市の古町にある元<sup>げいぎ</sup>芸子の住居兼稽古場。塀で囲った<sup>せんざい</sup>前栽と玄関を構えた二階建て町家。一階前座敷で<sup>こうた</sup>小唄、二階奥座敷で<sup>きよもと</sup>清元の稽古をした。出格子を通りに見せる二階前座敷は客座敷。現在料理店として活用する。



⑤ 国道1号線の自動車交通を切り開いた大正期のボーストリング・トラス橋  
054 安倍川橋 静岡県静岡市 大正12年

国道1号線が自動車交通に対応するため、安倍川に建設した輸入鋼材による全長491メートルの橋梁。貴重な大正期のボーストリング・トラス橋で、東海道の近代化に大きな意義を持つ。



提供：静岡市

⑥ 大正時代から現役の<sup>ぎおん</sup>祇園のお茶屋建築  
074~075 富美代主屋・大広間棟 京都府京都市 大正4年・昭和9年

祇園町北側にある茶屋建築。通りに出格子と<sup>すだれ</sup>簾を見せて京町家の典型的な表情とする。個々の座敷に採光と通風が確保されるよう、部屋と坪庭の配置が巧妙。大津壁の色合いが伝統的な祇園の風情を<sup>かも</sup>醸す。





⑦ ホトトギスで知られる景勝地の真言宗寺院にある江戸時代中期の本堂  
096～099 地蔵寺本堂他3件 大阪府河内長野市 享保6年（1721）等

県境の紀見峠に程近い真言宗寺院。本堂は宝形造、須弥壇前に天女板絵を吊すなど荘厳に特徴有る。鍾馗堂は鍾馗印の薬品会社が寄進したもので近代史を物語る。入母屋造り玄関を備えた庫裏と共に、ホトトギスで有名な落着きある境内を構成する。



⑧ 藩主御成に備えた設えの記録が残る庄屋の屋敷  
135～139 森家住宅主屋他4件 愛媛県西条市 天保12年（1841）等

石鎚山へ向かう街道沿いに広い式台玄関を構える、この地域随一の旧家の屋敷。文久4年（1864）に西条藩主が立ち寄り、通路の白砂から掛け軸に至る設えの記録が建物とともに残る。お殿様は東向きに座り、煙草盆を脇に置いたという。



⑨ 単アーチ橋から4連アーチ橋まで「ひふみよ橋」で親しまれる石造アーチ橋群  
145～147 寄口橋・大瀬橋・宮ヶ原橋 福岡県八女市 大正9年等

八女市街の北東を流れる星野川に架かる石造アーチ橋群。最上流に明治期の単アーチ橋（市指定文化財）を架け、下流に大正期の二連アーチ橋（寄口橋）、三連アーチ橋（大瀬橋）、四連アーチ橋（宮ヶ原橋：写真）が続く。「ひふみよ橋」として親しまれる意匠優れた石橋。



提供：八女市教育委員会

<担当> 文化庁文化財第二課電話：03-5253-4111（代表）  
課長 山下 信一郎  
課長補佐 田中 佳幹  
登録部門 黒坂 貴裕、清永 洋平、須藤 洋行（内線 2797）  
審議会係 森 幸一郎、内田 奈緒（内線 3160）